

# 調査報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

訪問調査日 調査実施の時間	平成 22 年 3 月 25 日 開始 10 時 30 分 ~ 終了 15 時 30 分
訪問先事業所名 (都道府県)	グループホームアミーユ 南蔵王 広島県
評価調査員の氏名	氏名 高橋 章 氏名 上田 治江
事業所側対応者	職名 ケアアドバイザー 氏名 西谷 佳代子 ヒアリングを行った職員数 ( 2 ) 人

### ○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載します。

### ○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入します。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけます。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容について記入します。

### ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

# 1, 調査報告概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	3471501761
法人名	株式会社 メッセージ
事業所名	グループホーム アミーユ 南蔵王
所在地	〒721-0973 福山市南蔵王町5丁目20-25 (電話) 084-940-6626
評価機関名	特定非営利活動法人 あしすと
所在地	福山市三吉町南一丁目11-31-201
訪問調査日	平成 22年 3月 25日

## 【情報提供票より】( # 年 3 月 # 日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 12 年 8 月 1 日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	16 人 常勤 11 人 非常勤 5 人 常勤換算 12,7 人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り 3 階建ての 2 階 ~ 3 階部分
------	-----------------------------

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	76,300 円	その他の経費(月額)	21,000 円
敷 金	有( 円)		無
保証金の有無 (入居一時金含)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,000 円

### (4) 利用者の概要( 6 月 19 日現在)

利用者人数	18 名	男性 3 名	女性 15 名
要介護1	1 名	要介護2	6 名
要介護3	3 名	要介護4	4 名
要介護5	4 名	要支援2	0 名
年齢 平均	87.3 歳	最低 75 歳	最高 96 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	福山第一病院 蔵王歯科
---------	-------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】 作成日 平成22年 3月31日

当事業所は、利用者が在宅の時の生活に近い生活を目指し事業展開をしている。企業理念のほか、各事業所の理念、年次目標を掲げ、「職員がいつも笑顔で接し、敬う気持ちを忘れない」を推進するため、毎週のカンファレンスの中で確認を行っている。また、楽しみ一つである食事についても、食事介護が必要な方々の症状に合った食事を提供するためソフト食の研究、研修に取り組んでいる。当事業所は商業地域にあり、地域との交流を促進するため自治会に加入し、行事に参加するほか事業所に招待する等の取り組みを深めると共に、運営推進会議を通じ防災訓練への参加の呼びかけを行っている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	評価で出た課題を職員で取り組み方を話し合い改善しサービス向上に努力している。運営推進会議にも報告している。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価について意義等を説明し、全職員が自己評価に参加し、カンファレンス等の中で、管理者が集約し作成している。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	奇数月に開催している。地域に密着したサービスの取り組みが行なわれていて、議事録も整っている。頂いた意見はリーダー会議で検討を行い、ケアに活かすよう取り組みしている。また、防災についての取り組みの話し合いを行い、協力体制の構築に向けた取り組みを開始している。
重点項目④	家族の意見、苦情
	ケアプラン見直し時に家族と話し合と共に、定期的に便りなどで生活状況を知らせている。また、頂いた意見や苦情は週1回のカンファレンスで話し合い、家族の納得のいく説明を行うよう努めている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	日頃から近隣の人への挨拶を大切にしている。町内会の資源回収や行事に参加して地域に溶け込み、連携がスムーズにとれる努力をしている。

## 2. 調査報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人理念に基づきユニット独自の理念を作成し、利用者を敬い、家族とも信頼しあい地域に根ざした利用者主体の理念となっている。		
	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	週1回のカンファレンスで理念を確認している。年間テーマに基づき現実的支援が施行されているか、全職員で毎月1回モニタリングしている。また、週目標にたいしては馴れ合いを防ぐ工夫を行い、ケアの統一化に心掛けている。		
	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内自治会に加入している。地域学区の取り組みに参加し運営推進会議で町会長から年間行事予定を聞き、地元との交流を深めている。花壇の手入れを手伝って下さるかたもある。小旅行する際呼びかけ、参加もある。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価、外部評価の意義を説明し、全職員が自己評価に参加し、管理者が集約している。外部評価の結果はカンファレンス、運営推進会議で取り上げて検討すると共に、改善に向けた取り組みを行っている。		
	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	奇数月に開催し、案内、議事録、検討書類が整っている。頂いた多くの意見を、リーダー会議で話し合いケアに取り入れている。介護用品業者も参加し、専門的な分野からの説明を受けることもある。家族参加で内容を充実させる取り組みもしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市、包括支援センターと積極的に行き来の機会を作り、都度助言を貰えるようにしている。併せて情報を貰い具体的対応がスムーズに行くやり方などを学びサービス・質の向上につなげている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月の報告内容は金銭収支報告、カラフルで興味深い内容と、生活状況にコメントを付けた便り、毎月のケアプランを送付し意見を貰うようにしている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会を年2回開催し、意見を頂きカンファレンスの中で検討し、家族に納得のいく説明が行われるよう努めている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	退職については3か月前に申し出るようになっていて、一定の引き継ぎ期間を設けダメージを防ぐ努力をしている。また、ユニット間の交流でスタッフと馴染みの関係を構築し、異動があった場合も対処できる取り組みをしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月事業所合同の内部研修会をテーマを決めて行っている。参加困難な職員は岡山で行われる研修会に参加する等、全員参加の研修体制をとっている。外部研修も一部事業所が援助しており、研修内容はカンファレンス等で報告し情報を共有する仕組みとなっている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	企業内部の管理者同士の交流はある。地域の中では行事や便りその他連絡を取り合い、事例検討会を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気になら馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人・家族に徐々に馴染んで貰うために、職員が事前に訪問し、顔馴染みの関係を作るようにしている。今までの生活に近い対応が出来るような取り組みとなるよう工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	理念に基づいたサービスを行っている。本人の出来ることは一人で、困難な場合は一緒に作業しその機能が保てる工夫をしている。物作りや料理教室では利用者から教えて貰うことも多くあり、支えあう関係作りを大切にしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は利用者の立場に立ち、本人の意向に合わせたサービスを行っている。意思表示の困難な場合は、生活歴を大切にし態度や表情から気持ちをくみ取るように努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎月介護計画を立てている。計画策定に際しては職員、本人、家族、医師等の意見を良く聞き、事前にケアプランについて意見を頂きカンファレンスで検討している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	週1回のモニタリングをし、毎月見直しを行っている。状況に応じた随時見直しも行い、内容については家族に報告すると共に職員間でも共有を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の状況に応じ、医療機関の受診や理美容院の同行、付き添い、家庭行事への送迎を行う等、柔軟な支援を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族に、協力医療機関について十分な説明をするとともに、かかりつけ医について聞き取り、事業所との関係を深める中、適切な受診が出来るよう支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時等、早い段階から話し合うように努めている。また、利用者によっては頃合いを見ながら話し、訪問看護など看取りについてお互いぶれの無い支援が出来るよう努めている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉掛けや記録等、プライバシーに配慮すると共に尊厳を損なわない取り組みをしている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	生活歴を把握し、起床、食事、入浴等、利用者の意向に沿えるよう努めている。また、イベント参加や服装等の自己決定を促す取り組みを都度行うようにしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	料理教室、間食については事業所で行うが、3食は配食となっている。食の細かい方や咀嚼力の弱い方等の状況に合ったソフト食作りに熱心に取り組み、摂取し易いよう工夫をしている。支度や片づけは利用者の力に合わせ、一緒に行うようにしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一定の制約はあるが、利用者の希望回数、希望時間等に合わせるよう努めている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ミニ音楽会、料理教室や、園芸等の得意分野で力を発揮できる場面作りをしている。また、履歴等の中から個々に応じた役割づくりなどの支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	家族同伴での小旅行を実施している。また、スーパーなどでの買い物や近隣の散歩など日課的に陽に当たるよう外出支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	見守りを中心とした取り組みをしており、日中は施錠していない。また、近隣とのつき合いを大切に、見守りの協力が頂けるよう努めている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、それぞれ昼、夜間を想定し災害防止訓練を消防署の協力のもと実施し避難や点検等の指導も受けている。また、地域の協力を得るため運営推進委員会に協力が頂けるよう働きかけている。	○	職員のための訓練ではなく、利用者の参加のもとで訓練し、体験を重ねることにより防災意識の高揚に努める。また、推進委員会を通じて地域へ訓練参加の呼びかけを積極的に行い、近隣から防災支援が頂ける関係の構築に努められることが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの状態に応じ、ソフト食やとろみをつけたお茶等摂取し易いように工夫をしている。特別気になる人への水分摂取に十分配慮し不足しないよう支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	空気のとどみや光彩、不快な音はなく、特に違和感はない。空間に季節感を感じられるよう生け花を置いたり、テラスのプランターに時期の草花を置くなど和むよう配慮されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族の写真や馴染みの物が持ち込まれ、利用者にあった部屋作りが出来ており、本人の納得のいく生活環境となっている。		



# 介護サービス自己評価基準

認知症対応型共同生活介護

事業所名 グループホーム アミーユ南蔵王（ききょう ユニット）

評価年月日 2010年 3月 25日

記入年月日 2010年 4月 12日

記入者 代表/管理者 氏名 堂本文江

# 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念に基づき、ユニット独自の理念として『お年寄りを敬う気持ちを忘れず、入居者様やご家族様の笑顔が、より多く見られるサービスを提供します』をつくりあげております。	
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	法人及びユニットごとの理念を構築し、更に年間目標を設定し、その人らしい生活が送れるように支援していきます。	
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	施設玄関付近に理念を掲示し、運営推進会議の際にも、理念の説明を行っております。	
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	立地条件が商業圏である為、気軽に立ち寄って頂けるような積極的な活動は十分に行えていませんが、回覧板のやりとりや、ご近所への挨拶など心がけております。	
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し、清掃活動や秋祭り、学区の朝の挨拶運動などの地域活動に参加し、また、施設主催の秋祭りにご招待するなど、地元の人々との交流に努めております。	○ 継続していきます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	職場体験などのボランティアの受け入れを実施しております。	○	継続していきます。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の結果を受け、具体的な目標を設定し、改善策を立てていきます。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	奇数月に運営推進会議を開催し、行事や事業所の取り組み状況などについて報告し、その中での意見をカンファレンスで検討し、援助に繋げています。頂いたご意見ご要望は即座に反映させるよう努めております。	○	ご家族が、より参加して頂ける様、内容や方法を充実させていきたいです。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	包括支援センターと連絡を取り合っています。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	地域権利擁護事業や成年後見制度のパンフレットを施設に設置し、研修会があれば参加していきます。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	社内及び外部の研修により学ぶ機会を持ち、カンファレンスなどで話し合い、防止に努めています。	○	継続していきます。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>		
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月1回、ケアなどについての内部研修を行っており、また外部研修には希望者に参加してもらっています。	○	継続していきます。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同一法人内の意見交換等を行っています。他の事業者同士の情報交換は少しずつ行っている状態です。		
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	会社で担当者を決め、職員の相談窓口を設置しています。		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	キャリアアップ制度（昇給制度）、社外研修参加制度、資格取得補助制度を設けております。また出産育児休業や配偶者出産休暇など子育て支援制度も行っております。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居面談時から話を聴く機会を積極的に設け、入居後も日常的に話を伺うようにしています。		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居面談時から話を聴く機会を積極的に設け、入居後も日常的に話を伺うようにしています。来訪時には出来るだけ話をする機会を作り、お聞きする姿勢をもつようにしております。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時に何に困っているか、どうされたいのか伺い、今どんな支援を必要としているかを見極め、どんなサービスを利用すれば解決できるかを一緒に考えるようにしています。入居が前提ではありません。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご家族から相談を受けた時から訪問を行うと共に、見学や体験入居をして頂き、徐々に馴染んで頂けるようにしております。環境の変化に混乱されない様、今までの生活により近い対応を心掛けています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常生活を共に営むという認識の下援助を行っております。ご自分で出来る事はご自分でまたは職員と一緒にして頂き、日々生きがいのある生活づくりを援助しています。理念にあるように、入居者様の喜びが職員の喜びであるような援助がモットーです。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	入居者様の状況について、随時、家族へ報告し、状態を把握して頂き、援助についても一緒に考えて頂いています。理念にもあるように、入居者様の喜びが職員の喜びであるような援助がモットーです。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	いつまでも家族の一員であることをお互いに認識して頂けるような援助をしています。出来るだけご家族に来て頂けるような施設作りに努めています。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族にも協力して頂き、今までの生活が継続できるように努力しているが、十分とは言い難い状況です。銀行に行かれたり、以前に日参されていた神社に行かれたりする支援も行っております。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	職員も共同生活者の一人として入居者を支えるようにしています。その中からご入居者同士の関係を把握し、職員が橋渡し役となってご入居者同士が関わりあえるようにしています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去後は担当ケアマネージャーの方と相談しながら、継続した関わりが必要なケースについてはフォローしています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者様やご家族から生活暦を聞き、希望や思いを把握すると共に、ご本人の意向に沿うように努めています。また、困難な入居者様には態度や表情などから把握するように努めています。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居相談、面談、契約時などに今までの生活について聴くようにしています。ご本人、ご家族、親戚や近所の方、ケアマネージャーなど、ご本人をよく知っている方々から様々な情報を頂くようにしております。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	入居相談、面談、契約時などに今までの生活について聴くようにしています。ご本人、ご家族、親戚や近所の方、ケアマネージャーなど、ご本人をよく知っている方々から様々な情報を頂くようにしております。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎月、介護計画を作成し、入居者様、ご家族、主治医などの意見を頂きながら、カンファレンスなどで話し合い、計画作成を行っています。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月、見直しを行いますが、体調変化に伴い状況変化があった場合は、必要に応じて適宜新たに計画を作成しております。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	規定の介護記録に日々の生活の様子を記入しています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者様の主治医への受診や、ご希望の理美容院へはご家族対応となっておりますが、ご家族の状況により、職員が行うなど、柔軟な対応が出来るようにしています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	その方の今までの生活、現在の状況において必要な場合は、民生委員の協力を仰ぎ、支援していきます。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の意向、必要性によっては、他のサービス利用を含め、どのようなサービスを利用すれば解決できるかを一緒に考えるようにしています。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現時点では実施事例はありません。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人及びご家族が医療機関の選定をされています。事業所としては、適切な医療が受けられるように助言などを行っています。		



項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者様の尊厳を守るような言動で接するようにしています。個人情報の取り扱いについては、個人情報保護法に基づいての取り扱いを行っております。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	ご本人が理解し決定できるよう、お一人お一人に合ったコミュニケーション手法により説明を行い、自己決定を尊重するようにしています。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様一人ひとりの生活習慣に応じて援助をスケジュール化してはいますが、その日の様子、希望によって臨機応変に対応するようにしています。また、援助を行う際に説明をした上で行っております。	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	入居者様の好みに合わせ、着替えや化粧などの援助を行っております。理美容院についても、ご本人の望まれる店に行けるよう、ご家族にも協力していただいています。訪問美容を利用されている入居者様も多くいます。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と一緒に準備や食事、片付けをしている	保健衛生上、通常の食事は配食会社への委託を行っておりますが、イベントとして月に数回、食材の調達から調理までを行うようにしております。職員も一緒に食事を取り、入居者様の好みに合わせた食事の提供に心掛けております。また、準備・片付けについては、入居者様に協力して頂きながら行っております。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒については特に制限しておりません。たばこについては施設管理上、喫煙場所の限定をさせて頂いておりますが、喫煙自体は制限しておりません。飲み物やおやつは、ご家族の協力のもと、好きな物を個別にご購入されている方もおられます。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	入居者様一人ひとりの排泄パターンを把握し、出来るだけ自然な形で排泄が出来るように努めております。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入居者一人ひとりの希望の時間に入浴できるように配慮しています。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	安眠できるように温かい飲み物の提供をしたり、足を温めたりするなどの工夫をしています。ご要望の就寝時間に沿って、援助を行っております。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴を基本に、一人ひとりに合った役割を出来るだけ持って頂けるように配慮しております。料理教室やミニ音楽会など定期的に関催し、日々の生活の中での役割を大切にしながら、ハレの日の演出も行うようにしております。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族の理解を頂き、個人でお金を所持しておられる方もいます。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	時間に限りはありますが、希望に応じて散歩や買い物などにお連れしています。希望を言われない方については定期的にお誘いしています。また、ご家族参加を含む小旅行を企画しております。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	希望を伺い、季節に応じて外出や日帰り旅行を計画しています。また、誕生日にはご要望に沿って、思い出の場所や行きたい場所に行ってもらえる様、支援しております。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の使用に制限はなく、電話のお取次ぎを行ったり、ご本人からして頂いたりしております。手紙を書かれたり投函などの支援も行っています。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間の設定は特になく、24時間可能です。ゆっくりくつろいで頂けるように配慮しています。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	県のフォーラムに参加し、また、身体拘束の弊害を研修等にて伝えております。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	1階玄関及び2階ユニット玄関は8時から20時までは開錠しております。ユニットが2階にある為、安全の確保も必要ですが、利用者様・ご家族が自由に入出りできるようにしています。また、やむを得ず施錠する際はその期間を限定し、それ以外は開錠しております。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	昼夜通して、所在確認を適宜行っています。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	入居者一人ひとりの状況に応じ、対応しております。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	危機管理についての研修等で知識を得るようにしています。危機管理の意識が保てる様、緊急時の対応を定期的に確認し、一人ひとりの状況に応じて必要な対策を立て、実践をしています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時に備え研修を行ってはいますが定期的に継続しては行えていません。地域で開催される救急救命講習会などへの参加をするように心がけています。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	夜間災害発生を想定した避難訓練を年2回行っています。地域への協力の働きかけは、運営推進会議などの際に町内会を通して行っています。	○	継続していきます。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	夜間災害発生を想定した避難訓練を年2回行っています。その際は建物の構造も考慮に入れ、本番に近い形で実施するようにしております。地域への協力の働きかけは、運営推進会議などの際に町内会を通して行っています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	施設看護師を中心とし、日々健康管理、異常の早期発見に努めています。異常がある場合には関係機関と連絡をとり受診などの対応をしています。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	その方が飲んでいる薬の情報について薬情をよく読む、薬剤師から説明を受けるなどして理解に努めています。また薬の変更時などは状態の観察を継続して行っています。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便コントロールについては薬剤だけに頼るのではなく、運動励行・水分摂取・食物繊維の摂取など生活面から個々に合った支援ができることにも取り組んでいます。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	誤嚥性肺炎の予防のためにも一人ひとりの状況に応じて、口腔ケアを行っています。また、必要な方には定期的に歯科衛生士によるケアも行っています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	○	継続していきます。
78	<p>○感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）</p>		
79	<p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>			
80	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>		
81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
82	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	全ての方が使い慣れたものを持参されているわけではありませんが、ご家族とお話し、写真やなじみの物を持ってきていただけるよう取り組んでおります。また、本人ががしやすいように家具の配置を工夫したり、好みに合わせた家具を使用いただいています。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	乾湿計を設置し、最低2回/日はチェックを行い、その都度温度調節を行っております。また研修・評価等で指摘・改善を行っております。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	必要な場所には手すりを設置していますが、共有スペースは広い空間となっている箇所が多く安全とはいえない面もあります。一人一人の生活動線の把握に努め、身体機能を活かしていただけるよう、考慮しています。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一人ひとりの状況に合わせて対応しています。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダにてプランター等に花を植え水やりをいただいています。また、外周りに花の苗を一緒に植えたり、中庭にも花を植え、散歩をしながら見ていただけるようベンチを設置し、休憩場所も確保しております。		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある		①毎日ある
		○	②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない



項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている		①ほぼ全ての職員が
		○	②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

※「アミーユ」では介護が必要となる以前の“普通の生活”を取り戻していただく生活の場所と考えております。

そして旅行や趣味を通して、以前の楽しかった生活を取り戻していただけるよう援助を行っております。

また、言葉で要望を伝える事が困難な方でも、以前の生活を参考にし、要望を捉えるよう努めております。

※運営推進会議などを通して、地域の方に施設を開示したり、またボランティアの方を受け入れ交流を図っております。

※日々の暮らしの中で特に取り組んでいることは、嚥下困難な方への食事の提供方法です。介護を必要とし行動範囲も縮小されている方は食事が最大の楽しみの一つであると考え、「ソフト食」に取り組み、定期的に研究会を開催しています。

# 介護サービス自己評価基準

認知症対応型共同生活介護

事業所名 グループホーム アミーユ南蔵王（はまゆう ユニット）

評価年月日 2010年 3月 25日

記入年月日 2010年 4月 12日

記入者 代表/管理者 氏名 西谷 佳代子

# 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	法人の理念に基づき、ユニット独自の理念として『丁寧な言葉を遣いスキンシップを取り、いつでも笑顔で接します』をつくりあげております。	
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	法人及びユニットごとの理念を構築し、更に年間目標を設定し、その人らしい生活が送れるように支援していきます。また、カンファレンスにて定期的に確認し、取り組んでおります。	
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	施設玄関付近に理念を掲示し、運営推進会議の際にも、理念の説明を行っております。	
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	立地条件が商業圏である為、気軽に立ち寄って頂けるような積極的な活動は十分に行えていませんが、回覧板のやりとりや、ご近所への挨拶など心がけております。	
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	自治会に加入し、清掃活動や秋祭り、学区の朝の挨拶運動などの地域活動に参加し、また、施設主催の秋祭りにご招待するなど、地元の人々との交流に努めております。	○ 地域の行事や催し物に、より積極的に参加を行い、交流の機会を増やしていきたいです。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	職場体験などのボランティアの受け入れを実施しております。	○	継続していきます。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の結果を受け、具体的な目標を設定し、改善策を立てていきます。	○	継続していきます。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	奇数月に運営推進会議を開催し、行事や事業所の取り組み状況などについて報告し、その中での意見をカンファレンスで検討し、援助に繋げています。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	包括支援センターと連絡を取り合っています。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	地域権利擁護事業や成年後見制度のパンフレットを施設に設置し、研修会があれば参加していきます。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	社内及び外部の研修により学ぶ機会を持ち、カンファレンスなどで話し合い、防止に努めています。	○	継続していきます。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>		
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月1回、ケアなどについての内部研修を行っており、また外部研修には希望者に参加してもらっています。	○	継続していきます。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同一法人内の意見交換等を行っています。他の事業者同士の情報交換は少しずつ行っている状態です。	○	他の事業者に見学に行くなど、交流の機会を持ちたいです。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	会社で担当者を決め、職員の相談窓口を設置しています。		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	キャリアアップ制度（昇給制度）、社外研修参加制度、資格取得補助制度を設けております。また出産育児休業や配偶者出産休暇など子育て支援制度も行っております。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居面談時から話を聴く機会を積極的に設け、入居後も日常的に話を伺うようにしています。		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居面談時から話を聴く機会を積極的に設け、入居後も日常的に話を伺うようにしています。入居者様・家族様からより多くの思いを受け止め、信頼関係の構築に努めております。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時に何に困っているか、どうされたいのか伺い、今どんな支援を必要としているかを見極め、どんなサービスを利用すれば解決できるかを一緒に考えるようにしています。入居が前提ではありません。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご家族から相談を受けた時から訪問を行うと共に、見学や体験入居をして頂き、徐々に馴染んで頂けるようにしております。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常生活を共に営むという認識の下援助を行っております。理念にあるように、入居者様の喜びが職員の喜びであるような援助がモットーです。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	入居者様の状況について、随時、家族へ報告し、状態を把握して頂き、援助についても一緒に考えて頂いています。理念にもあるように、入居者様の喜びが職員の喜びであるような援助がモットーです。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	いつまでも家族の一員であることをお互いに認識して頂けるような援助をしています。出来るだけご家族に来て頂けるような施設作りに努めています。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族にも協力して頂き、今までの生活が継続できるように努力しているが、十分とは言い難い状況です。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	職員も共同生活者の一人として入居者を支えるようにしています。その中からご入居者同士の関係を把握し、職員が橋渡し役となってご入居者同士が関わりあえるようにしています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去後は担当ケアマネージャーの方と相談しながら、継続した関わりが必要なケースについてはフォローしています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者様やご家族から生活暦を聞き、希望や思いを把握すると共に、ご本人の意向に沿うように努めています。また、困難な入居者様には態度や表情などから把握するように努めています。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居相談、面談、契約時などに今までの生活について聴くようにしています。ご本人、ご家族、親戚や近所の方、ケアマネージャーなど、ご本人をよく知っている方々から様々な情報を頂くようにしております。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	入居相談、面談、契約時などに今までの生活について聴くようにしています。ご本人、ご家族、親戚や近所の方、ケアマネージャーなど、ご本人をよく知っている方々から様々な情報を頂くようにしております。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎月、介護計画を作成し、入居者様、ご家族、主治医などの意見を頂きながら、カンファレンスなどで話し合い、計画作成を行っています。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月、見直しを行いますが、体調変化に伴い状況変化があった場合は、必要に応じて適宜新たに計画を作成しております。		



項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	規定の介護記録に日々の生活の様子を記入しています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者様の主治医への受診や、ご希望の理美容院へはご家族対応となっておりますが、ご家族の状況により、職員が行うなど、柔軟な対応が出来るようにしています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	その方の今までの生活、現在の状況において必要な場合は、民生委員の協力を仰ぎ、支援していきます。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の意向、必要性によっては、他のサービス利用を含め、どのようなサービスを利用すれば解決できるかを一緒に考えるようにしています。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現時点では実施事例はありません。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人及びご家族が医療機関の選定をされています。事業所としては、適切な医療が受けられるように助言などを行っています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者様の尊厳を守るような言動で接するようにしています。個人情報の取り扱いについては、個人情報保護法に基づいての取り扱いを行っております。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	ご本人が理解し、決定できるようなコミュニケーション手法により説明を行い、自己決定を尊重するようにしています。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様一人ひとりの生活習慣に応じて援助をスケジュール化してはいますが、その日の様子、希望によって臨機応変に対応するようにしています。また、援助を行う際に説明をした上で行っております。	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	入居者様の好みに合わせ、着替えや化粧などの援助を行っております。理美容院についても、ご本人の望まれる店に行けるよう、ご家族にも協力していただいています。訪問美容を利用されている入居者様も多くいます。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者 と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	保健衛生上、通常の食事は配食会社への委託を行っておりますが、イベントとして月に数回、食材の調達から調理までを行うようにしております。また、準備・片付けについては、入居者様に協力して頂きながら行っています。嚥下状態の低下している方でも食の楽しみを持ち続けていただきたく、ソフト食の検討を	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒については特に制限しておりません。たばこについては施設管理上、喫煙場所の限定をさせて頂いておりますが、喫煙自体は制限しておりません。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	入居者様一人ひとりの排泄パターンを把握し、出来るだけ自然な形で排泄が出来るように努めております。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入居者一人ひとりの希望の時間に入浴できるように配慮しています。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	安眠できるように温かい飲み物の提供をしたり、排泄介助の時間の調節などの工夫をしています。ご要望の就寝時間に沿って、援助を行っております。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴を基本に、出来るだけ役割を持って頂けるように配慮しております。日々の生活の中での役割を大切にしながら、行事など、ハレの日の演出も行うようにしております。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族の理解を頂き、個人でお金を所持しておられる方もいます。また、普段は所持をご希望されていなくても、旅行の際には、お土産などご自分で支払いをして頂けるよう準備して頂く、など、ご家族にご協力をして頂いております。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	時間に限りはありますが、希望に応じて散歩や買い物などにお連れしています。希望を言われない方については定期的にお誘いしています。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	希望を伺い、季節に応じて外出や日帰り旅行を計画しています。また、家族様にも一緒にご参加頂ける様、随時お誘いしております。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の使用に制限はなく、電話のお取次ぎを行ったり、ご本人からして頂いたりしております。手紙を書かれたり投函などの支援も行っています。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間の設定は特になく、24時間可能です。ゆっくりくつろいで頂けるように配慮しています。また、家族様が来訪の際、日頃の様子をお伝えし、次回も快く来訪して頂けるよう努めております。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	県のフォーラムに参加し、また、身体拘束の弊害を研修等にて伝えております。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	1階玄関および2階ユニット玄関は8時から18時まででは開錠しています。ユニットが3階にあるため、安全の確保も必要ですが、利用者様・家族様が自由に入出入り出来るようにしています。また、やむを得ず施錠する際はその期間を限定し、それ以外は開錠しております。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	昼夜通して、所在確認を適宜行っています。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	入居者一人ひとりの状況に応じ、対応しております。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	危機管理についての研修等で知識を得るようにしています。危機管理の意識が保てる様、緊急時の対応を定期的に確認し、一人ひとりの状況に応じて必要な対策を立て、実践をしています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時に備え研修を行ってはいますが定期的に継続しては行えていません。地域で開催される救急救命講習会などへの参加をするように心がけています。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	夜間災害発生を想定した避難訓練を年2回行っています。地域への協力の働きかけは、運営推進会議などの際に町内会を通して行っています。	○	継続していきます。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	一人ひとりの状況に合わせリスクの予測を行い、ケアプラン等を通じて家族に説明、理解をいただいています。安全を優先し行動を抑制したりすることのないようにしています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	施設看護師を中心とし、日々健康管理、異常の早期発見に努めています。異常がある場合には関係機関と連絡をとり受診などの対応をしています。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	その方が飲んでいる薬の情報について薬情をよく読む、薬剤師から説明を受けるなどして理解に努めています。また薬の変更時などは状態の観察を継続して行っています。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便コントロールについては薬剤だけに頼るのではなく、運動励行・水分摂取・食物繊維の摂取など生活面から個々に合った支援ができることにも取り組んでいます。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	誤嚥性肺炎の予防のためにも一人ひとりの状況に応じて、口腔ケアを行っています。また、必要な方には定期的に歯科衛生士によるケアも行っています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		
78	<p>○感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）</p>		
79	<p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
(1) 居心地のよい環境づくり			
80	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工 事</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>		
81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
82	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所つ くり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	全ての方が使い慣れたものを持参されているわけではありませんが、ご家族とお話し、写真やなじみの物を持ってきていただけるよう取り組んでおります。また、本人ががしやすいように家具の配置を工夫したり、好みに合わせた家具を使用させていただいています。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	乾湿計を設置し、最低2回/日はチェックを行い、その都度温度調節を行っております。また研修・評価等で指摘・改善を行っています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	必要な場所には手すりを設置していますが、共有スペースは広い空間となっている箇所が多く安全とはいえない面もあります。一人一人の生活動線の把握に努め、身体機能を活かしていただけるよう、考慮しています。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一人ひとりの状況に合わせ、自立支援に向けて対応しています。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダにてプランター等に花を植え水やりをさせていただいています。また、外周りに花の苗を一緒に植えたり、中庭にも花を植え、散歩をしながら見ていただけるようベンチを設置し、休憩場所も確保しております。		



V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている		①ほぼ全ての職員が
		○	②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
		○	③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
		○	②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

※「アミーユ」では介護が必要となる以前の“普通の生活”を取り戻していただく生活の場所と考えております。

そして旅行や趣味を通して、以前の楽しかった生活を取り戻していただけるよう援助を行っております。

また、言葉で要望を伝える事が困難な方でも、以前の生活を参考にし、要望を捉えるよう努めております。

※運営推進会議などを通して、地域の方に施設を開示したり、またボランティアの方を受け入れ交流を図っております。

※日々の暮らしの中で特に取り組んでいることは、嚥下困難な方への食事の提供方法です。介護を必要とし行動範囲も縮小されている方は食事が最大の楽しみの一つであると考え、「ソフト食」に取り組み、定期的に研究会を開催しています。